

イノシシ対策は

登地 靖徳 議員

答 有効な防御を検討



両サイドにイノシシ捕獲施設を設置して、一網打尽に捕獲すればと考えるが。

市長 提言は大変有効なものと考えます。

国の特別措置等勘案して有効なバツファージン（緩衝地帯）を検討していきたい。

沖小・中学校を

定住促進住宅に

登地 江田島市外から、遠くは東京・埼玉・神奈川・大阪方面から定住・移住したいとの問い合わせが多く寄せられています。

民家の個人住宅に空家は沢山ありますが、売らない・貸さない住宅がほとんどで、定住・移住希



▲ 福祉の拠点（市大柿分庁舎）



江田島市は持続可能か

越野 哲也 議員

答 行財政改革に努める

越野 現在の財政状況下で、江田島市は持続可能か。

市長 極めて厳しい財政状況である。多くの行政課題を抱える中、歳出の抑制を図り、行政のスリム化を行う。

越野 財政健全化法が公布されたが、江田島市の将来は。

市長 今後、事業をするにしても公債費、つまり借金をすることもある。

総合計画の見直しを図りながら、財政破綻しない方法を見極め、将来に向かって取り組みます。

越野 障がい者福祉について近年、LD（学習障害）・ADHD（注意欠陥、多動性障害）など障がいの種類は多様化してきたが、幼児期から小学校期

にかけての教育は。
市長 本年4月より特別支援体制の強化を図っており、保育園・小学校など連携のもと就学相談を行い、保護者の不安を取り除いております。又、適切な教育が受けられるよう就学指導委員会を開催します。

越野 入所者の障がい者施設は「倉橋の里」があるが、定員いっぱいである。今後、グループホームやケアホームが必要だが。

市長 現在、当市には障がい者向けのケアホームなどの施設サービスの基盤整備に努める。



▲ 農地を荒らすイノシシ

望者の要求を満たすことが大変困難となり、多くのキャンセルを出すという、大変残念な状態が続いている。

是長の「やすらぎ交流農園（小屋付）」10棟、（賃借料1棟あたり29万4千円）も希望者が多く、不足状態です。

そこで、空き校舎となった沖小・中学校を定住促進住宅に活用することが

可能となれば、人口の増加・産業の振興・地域の賑わい等幅広い効果が期待できるので、是非、実現に向けて進めてもらいたい。

市長 現在、定住交流に向けた実施プランを検討中、学校活用については多面的な検討が必要。

産業部長 来年度、実施可能なプランを策定したい。



児童生徒の進路の取り組みは

山本 一也 議員

答 教育環境の整備を進める

山本 市総合計画では、生きる力の育成と個性豊かな学校づくりのために学校と家庭・地域が連携し、取り組みを推進することが計画されているが、配慮を要する児童生徒への取り組みについて現状と課題をどう分析しているか。

教育長 学力調査結果については、広報に掲載済み。市内中学生の高校進学率はほぼ100%、高校退学率1.8%、地元高校への進学は3割程度となっている。地元高校の存在意義はたいへん大きいと認識している。

市教委としての一歩の課題は教育環境の整備であり、人的・物的両面での力を集中していく。
山本 学力調査結果の学

校ごと公表が地域に与える影響について十分に配慮してほしい。

特別支援学校・地元高校の存在意義を十分に認識され、地元校との連携、中途退学状況等、個々の生徒の進路についてしっかりと内容を分析し、配慮を要する児童をはじめ、すべての児童生徒の進路保障に向けて学校・家庭・地域が連携した取組を推進してもらいたい。

特に保護者連携において報告のあったケースについては、事実確認に基づく指導をお願いする。

防災・避難マップの活用を

山本 地域が共に助け合い支えあい、地域を守る

取り組みをすすめるために、要援護者台帳の整備と防災・避難マップの製作、活用に早急に取り組むべきでは。

市長 災害時における要援護者（災害弱者）台帳を作成、今後「災害時要援護者支援マニュアル」を自治組織及び民生委員・児童委員へ配布し協力をお願いする。

また、地震高潮等ハザードマップを作成、配布を予定している。

山本 想定される災害内容と避難場所の設置については、地域の実情に即したマップを作成し、活用しやすいものとなるよう期待する。



▲ 大柿高等学校校舎